



電子制御工学科5年 山内 啓次

「自分の持っている時間をいかに使うか」このことを自分は、高専での5年間で何よりも意識させられました。高専は比較的校則が厳しくないため、ある程度の社会的な「きまり」を守っていれば、あとの行動は学生自身の判断に任せられます。

そのため5年間の高専生活と一口に言っても、部活や学校行事に一生懸命に取り組んだ者、欲しいもののために放課後毎日のようにバイトをしていた者、アニメやゲームの世界にどっぷりと浸っていた者、と皆がそれぞれ違った色の5年間で過ごしたのではないかと思います。かく言う自分はこの5年間で、「自分がしてみたいと思ったこと」

に積極的に取り組めたかなと感じています。ここには書けないようなことも色々してきましたが、やはり自分は5年間を振り返ってみて最も印象に残っているのは、学校主導の国際交流プロジェクトに参加し、実際にシンガポールに赴いて現地の学生と交流が行えたことです。高専生活での全ての経験が、自分の視野を広げてくれたと信じています。

最後になりましたが、お世話になりました家族、先生方、そして共に学んできた友人たちへの感謝の意を表して、この文章を締めくりたいと思います。本当にありがとうございました。

卒業

Congratulations on your graduation.



卒業研究発表をする箱谷君

電子制御工学科主任 島岡 三義

卒業される皆様方には本当におめでとうと申し上げます。2020年東京オリンピック開催決定以後、我が国の科学技術の力は相も変わらず世界トップレベルであることを示す明るい話題も出てきました。未開拓分野はまだまだまだたくさんあって、皆さんの活躍の場は無限にあると言えます。広い視野で世の中を見ていけば自分に適した仕事場が必ず見付き、有意義な人生を送れると思います。皆さん一人一人が力を存分に発揮して日本を盛り上げていただければ幸いです。



情報工学科5年 福岡 久和

皆さん、卒業おめでとうございます。

5年間の高専生活にも終止符が打たれ、私達卒業生は巣立ちの時を迎えました。思い返せば、まだ成長中の体に合わせた少し大きい学生服に身を包み、これからの学生生活を思い浮かべていたことでしょう。その胸には期待と不安で埋め尽くされていました。

時が経つのは早いもので、学年が上がると、専門科目も

多くなり、実験やレポートに追われる日々でした。分からない問題に討論し、勉学に励み、放課後は部活動に勤しむ日々でした。4年生も後半に入ると、進路選択の時期になりました。私は進学と決めていましたが、受験まで1年以上あるなか、就職を希望している同級生は活動を始め、焦りに駆られました。受験勉強として3年生までの内容を復習するも、まだ先の受験に向けて気持ちを維持することが出来ず墮落した日々を送っていました。将来の不安を抱え、陰鬱な時もありました。しかし、5年生になり就職活動や受験勉強に一生懸命取り組んでいる友人を見ると、心の中の雨も止み気持ちが上向きしました。

最後に、学業やクラブ活動でお世話になりました先生方ありがとうございました。学生生活を支えてくれた両親にも感謝致します。

情報工学科主任 浅井 文男

情報工学科5年生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんの卒業後の進路選択に関してはおもに進学を担当することで、私自身、大変充実した1年間を過ごすことができました。就職・進学を問わず、家族と離れて見知らぬ土地で新生活を始める人は、視野を広げ、経験を積む絶好のチャンスです。私も初めて就職した瀬戸内海を望む地方都市での体験が最も思い出深く、実り豊かになりました。いつの日か、自分が一回り成長したと実感した暁には、ぜひ、情報学科棟を訪れて体験談を聞かせて下さい。



卒業旅行にて

Ready for a new door?

